

# 令和2年度鹿児島県がん対策推進協議会議事概要

〔主な意見〕

## (1) 報告事項 ①本県におけるがんの現状について

委員： 希少がんや難治がんなど他の部位も、できる範囲で報告をいただきたい。  
国の調査（平成30年度患者体験調査書）の患者の声も、報告をお願いしたい。

## 報告事項 ②鹿児島県がん対策推進計画の進捗状況について

委員： 進捗状況の評価だけでなく、施策への反映を検討し、実行もお願いしたい。

委員： クリティカルパス及び退院支援ルールを、さらに普及していく必要がある。

委員： クリティカルパスは、診療先でしか発行できないという問題がある。コロナの  
(代理) 影響もあり、診療自体も増えていないので、目標値設定等にも関わってくる。

委員： 患者を治療した後の流れは良くなっているが、その後が大事かもしれない。

## (2) 協議事項 コロナ禍におけるがん検診受診率向上について

委員： ロコミで、検診受診の呼びかけをもっと力を入れてやるといいかなと思う。

委員： 検診会場での感染防止対策の徹底を、メディアで広報すると安心できるのでは。

委員： がん検診を受診しても濃厚接触にはならないことを説明し、がん罹患リスクと  
照らし合わせるべきでは。

委員： 市町村と協力をしながら、安心して検診会場へ来れるよう対策をとっている。  
(代理)

委員： 啓発物も、画一的なものだけではなく、何種類か作成するといいのではないか。

## (3) その他

委員： オンラインによりがん教育を実施し、啓発を行うことができた。  
新型コロナウイルス対策や、がん情報の県ポータルサイト設置についての意見  
もあるので、後日回答をいただけたらありがたい。

会長： がん教育を受けた子どもたちが、祖父母等へ声かけすることによって検診受診  
率が上がるのではないか。

委員： 今後がん教育を進めていく上で、外部講師を活用し充実させるため、外部講師  
(代理) のリスト化を図る。ぜひ今後協力をお願いしたい。

委員： 鹿児島労働局では、病気に罹患された労働者が、治療と仕事の両立を支援する  
取り組みを行っているので、機会があれば周知していただきたい。

委員： 小児がん患者の長期フォローアップの中には、小慢、難病の子どもたちの13歳  
以上の移行期医療支援と一緒に進めているのではないかと思うので、交流会の実  
施など報告していただきたい。

委員： 県歯科医師会では、口腔がんの啓発も行っている。がん治療には、口腔ケアが  
重要なため、歯科の連携を進めていきたい。歯科医療連携室も周知してほしい。